

病院広報誌が生まれ変わりました!

だい

せい

こう

Vol.1 夏号
2022年

大整広

Be smiling! All is well!

大阪整形外科病院 広報誌



変化する時代に求められる個人病院のあり方とは。

働き方のスタイルや暮らしの多様化、日々進化しつづける医療に向き合う。

皆さん、コロナ禍の中、いかにお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症が国内で発生してから2年以上が経過していますが、いまだ収束したとはいえない状況が続いています。

当院は、「かつてない大きさの第3波」と言われた2020年12月に新築移転しました。当時は移転において思い悩むことも多くありましたが、職員一丸となり様々な困難を乗り越えてまいりました。

また、新病院を運営していくにあたり、診療体制、外来・入院いずれも患者様にはたくさんのご理解・ご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

大阪整形外科病院として生まれかわり1年半が経過し、改めて当院の紹介をさせていただきます。

現在、当院の常勤医師は整形外科医師5名で、麻酔科専門医2名の計7名在籍しております。

私が専門としている関節外科手術では、2019年に1023件の人工関節手術を実施し、病院(中之島いわき病院)を開院以来、初めて人工関節手術が1000件(人工股関節398件、人工膝関節646件)を超え、人工膝関節置換術・人工股関節置換術の手術ともに、近畿では2位、大阪府下では1位の症例数を誇る病院となりました。

2021年は、コロナの影響もあり手術総件数は1724件で、関節外科手術が773件、脊椎外科手術260件、スポーツ・肩・足関節手術250件でした。これも整形外科病院として特化し、医師の専門性や技術の高さ、また職員においても整形外科病院で従事するという信念をもって日々取り組んでいるからこそ、成せることだと考えております。

また、整形外科病院として、多くの治療を提供したいと日頃より考えており、患者様の選択肢が広がるよう、新しい治療を取り入れております。

昨今では、整形外科分野においても再生医療が注目されており、現在当院では3種類の再生医療を取り扱っております。

2020年秋より、PRP療法(多血小板血漿)・APS療法(自己タンパク質溶液)を導入し、2021年秋より、ASC療法(脂肪由来幹細胞)を開始しており、全て自費治療となります。

当院ではPRP・APS療法を導入以来、200例以上行い、評価では9割近い症例で何らかの除痛効果が得られています。

この治療は、患者様自身の血液を採血させていただき、院内で分離・抽出を行い、対象部位に注入するという流れです。

ご来院された当日の1時間ほどで終わり、ご自身の血液をつかうのでアレルギー反応や拒絶反応など起こりにくく、非常に身体的負担が少ない治療です。

最近、取り入れましたASC療法は、腹部などから脂肪細胞を0.5~1gほど採取し、数週間から2~3か月かけて必要な細胞数になるまで培養し増やしたものを、1回もしくは複数回投与する治療になります。

先ほどの治療とは異なり、日帰りの外科的手術(皮膚切開1センチ~2センチ・局所麻酔)と専門の培養センターへ配送、脂肪細胞を酵素処理・播種(はしゅ)する期間が必要なため、時間を要します。ASC療法は、3例おこなっていますが、評価には至っておりません。

再生医療には、いくつかの注意点が重要です。全例で有効なわけではなく、2~3割程度の無効例があること。効果の持続時間は、長期にわたるものではなく著効例で2~3年程度が1つの目安になるということです。

また、軟骨の顕著な再生や、変形した骨が戻るということは期待できません。骨壊死など骨の圧潰や骨浮腫を伴う症例、半月板由来の症状には効きにくいと言われており、従来の保存治療と手術治療の中間的治療の位置づけとなっています。

最近、有名俳優を登場させて、大々的にCM広告などで、「人工関節をしない切らない治療」と銘打っている再生医療専門のクリニックなどを見かけますが、あまり過度な期待はせず、慎重になるべきだと思っております。

最後に、大阪整形外科病院の院長として、これからも皆様のためにより良い医療と療養環境を届けていきたいと考えております。

引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

暑中、お体に気を付けてお過ごしください。



院長

いわき ひろよし
岩城 啓好

知識・技術・人間力に磨きをかけ。
看護の力を発揮できる環境づくりで、患者様に気持ちの良いケア・サポートを実践。

新病院となり早1年半を迎えました。

2020年12月にコロナ禍での移転、その後も新型コロナウイルス感染症に翻弄され目まぐるしく過ぎる毎日の苦悩を拭いきれないなか、当院の運営・感染対策において、皆様には、ご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

新築移転をおこない病院建物のみ「新しく」「きれい」になっただけでなく、「心新たに」患者様ファーストを志し、看護部職員は日々の業務に励んでおります。

何か少し変わったかと、変化を感じていただけましたら幸いに存じます。

私のモットーは、やりがいを持って気持ちよく働ける職場をつくることであり、看護部のトップとして日々、その環境づくりに目標を定め全力投球しております。

部下であるそれぞれの看護管理者は、「熱い想い」がのった私からの全力投球を受け止め、現場で力を発揮している看護部職員へ引き継がれています。

当院の看護部職員は、笑顔を絶やさず、細やかな配慮ができる人財であると誇りをもっております。

「大阪整形外科病院で手術をしてよかった」「大阪整形外科病院の看護師にケア・サポートしてもらってよかった」と思っていただけるよう、今後も知識・技術の向上に努め、「人」として美人になれるよう日々精進してまいります。

そして、皆様に愛される病院を目指してまいります。

今後とも何卒よろしく願い申し上げます。



看護部
看護部長

かとう えみこ
加藤 恵美子

結束力の高いチーム医療で。
スペシャリストとして日々知識を深め、患者様に安心安全な心地の良い医療を。

大阪整形外科病院 診療支援部部長の家原と申します。

診療支援部は、中之島いわき病院時代の2019年10月に、5つの職種からなる部門に再編成され、私はその当初に部長を拝命いたしました。

近年は医療が高度化・専門化・細分化・分業化し、医師をはじめとした様々な職種によるチーム医療の推進がなされています。当院においても職種をまたいだ情報共有やコミュニケーションにより、患者様にとって最高かつ最良の医療が提供できる様、日々努力しております。

そして診療支援部においては各職種の専門性を十分に発揮しつつ、患者様に常に寄り添う姿勢をモットーに日々業務に邁進しております。

そんな一生懸命な診療支援部5部署を、意気込みやキャッチコピーでご紹介をさせていただきます。

皆さま、どうぞ末永くよろしくお願いいたします。



診療支援部部長
薬剤科 薬剤科長

いえはら みか
家原 美薫

【放射線科】美しい骨はより美しく。そうでない骨もそれなりに。

当院の骨専門カメラマンが極上の1枚を撮影いたします。

【検査科】血液も尿も心電図も、全てが大切な健康データ。

皆様の健康を分かりやすく見える化変換いたします。

【薬剤科】1秒でも早く患者様の苦痛を和らげたいから、「痛い痛い飛んでいけ〜」って心を込めてお薬調剤しています。

【栄養科】どなたにも身近な存在、栄養科。試行錯誤!日々前進!

「病院食だけ美味しいね」「明日のお昼は何かなあ」と楽しみにしていただける食事を目指します。

【地域医療連携室】ご依頼対応は最速・丁寧に。

でもご高齢の方にはゆっくり丁寧に、ご説明いたします。(雑談歓迎!)

その人らしさを大切に。

年齢や暮らし。そして目的と目標。その人に合った、オーダーメイドリハビリを提供。

リハビリテーション部、部長の北河と申します。

リハビリテーション部を代表して、皆様にご挨拶申し上げます。

私たち理学療法士は、肩や腰、股関節、ひざに痛みのある方、またスポーツでケガをしてしまった方に対し、「痛みなく生活できるようになりたい」、「趣味の旅行や山登りに行きたい」、「ケガをしてしまったけど、またクラブ活動に復帰してスポーツがしたい」など、それぞれの患者様のご要望にお応えするべく、患者様と一緒に目標を考え、それぞれの患者様に合ったリハビリメニューを作成しながらお手伝いさせていただいております。

また、新病院に移転してからは、スポーツ分野のリハビリにも力を入れています。

小学校から大学までの学校行事やクラブ活動でのケガをされた学生さんへのリハビリは、スポーツリハビリ専用のスペースがある関連施設の中の島いわき整形外科において対応しております。

野球での肩・肘の痛み、バスケットボールでのひざや足首のケガ、ラグビーやアメリカンフットボールでの肩の脱臼など、あらゆるスポーツでのケガに対し、スポーツ専門医が診察にあたり、理学療法士とともにスポーツ復帰までサポートさせていただいておりますので、スポーツのケガでお悩みの方は是非、大阪整形外科病院または中之島いわき整形外科にお越しください。

皆様のお力になれるよう、リハビリテーション部スタッフ一同、日々精進してまいります。



リハビリテーション部
部長

きたがわ あきら
北河 朗

大切なことはなにか。

整形外科を専門とした病院として、流動化する時代と加速する高齢化に沿った医療提供の実現。

梅雨の時期となり、湿気が多くじめじめした日が続いておりますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。

早いもので、リハビリテーション部から事務部に移動し、事務長に就任してから2年が経ちました。

この2年の間に病院の移転、中之島いわき整形外科の開院、訪問看護・介護ステーションつぐみのオープンと色々なことがありました。

理学療法士として勤務していた時は、担当する患者様のリハビリメニューの検討、後進の育成、リハビリテーション部の運営とこれまで培ってきた経験を生かして取り組んでまいりました。

事務部は初めて取り組む仕事が多く、戸惑いながら日々励んでおります。

当院は、整形外科に特化し、高度かつ専門的な医療を提供することを目的としております。

関節外科、脊椎、スポーツと各分野の経験豊富な医師が診療しております。

また、リハビリテーション部では理学療法士を病院に41名、中之島いわき整形外科に4名を配置し、日常生活動作の問題を早期に解決できるような体制を取っております。

在宅でお過ごしの患者様には、訪問看護・介護ステーションに看護師3名、介護担当者3名、理学療法士1名を配置し在宅での生活をよりよく過ごせるよう取り組んでいます。

これからも、患者様にとって利用しやすい病院を目指し頑張っていきたいと思っておりますので

大阪整形外科病院をよろしくお願いいたします。



事務部
事務長

もりもと てつや
森本 鉄也

切らない膝関節治療

ASC治療

脂肪由来幹細胞

← CHECK 00

近年、手術をせずひざの痛みの改善を期待できる新たな治療として、**再生医療**が注目を浴び、急速に発展しています。

その再生医療の1つとして、脂肪由来幹細胞(ASC)治療があります。

患者様の腹部から脂肪を採取し、酵素処理や播種(はしゅ)など加工をおこない、脂肪に含まれる「幹細胞」を抽出し、必要な細胞数になるまで培養します。これを、膝関節に注射します。

自身の細胞を培養して注射するという施術のためアレルギーや拒絶反応のリスクが低いことが特徴です。

この治療の肝となる、「**幹細胞**」には2つの能力があります。

- ①炎症を鎮め、痛みを抑制する効果
- ②組織修復の促進

変形した骨が元通りになる訳ではありませんが、膝の炎症をおさえ、これまで修復されないと考えられていた軟骨などの組織を修復することが期待できる治療といわれています。

当院でもこの治療を患者様の治療選択の1つとして取り入れており、

- ・「現在受けている治療では効果が実感できなくなってきた」
- ・「手術に進む前に他の治療をしたい」
- ・「入院期間や退院後が心配で手術に踏み切ることができない」 など

様々な患者様の一助になるのではと考えております。

当院のホームページまたは、病院内に設置しております「ASC治療」パンフレットをご覧ください。

当院で取り扱っているいる再生医療は、他にPRP・APS治療といった血液を用いた治療も行っております。お気軽に医師または看護師にお尋ねください。

大阪整形外科病院 再生医療

再生医療ホームページ
QRコード



オンデマンドバスの説明会を開催しました!

本年4月より、キタ・梅田エリアで運行が開始された、Osaka Metro Groupが運営している、**オンデマンドバス**。
当院も乗降位置に指定されており、大阪メトロ様にお越しいただき説明会を開催しました。

このオンデマンドバスは、日時や乗降場所を指定し予約ができる、非常に便利なバスです。

病院の前で乗降できますので、この暑い夏の季節や天候の悪い日などにご利用いただくにはピッタリだと思います。

また、バスの中は広いので、シルバーカーや退院時の荷物が多いときなど気兼ねなく乗ることができます。福祉車両もありますので、予約時に福祉車両を選択することで、車いすの方も利用が可能です。

事前に予約をするので、必ず座ることができ、シティバスとは異なり進行方向に関係なく指定されている乗降位置であればどこでも乗り降りできます。

最寄り駅まで、なかなか手強い距離のある当院。アクセスの不便さや、自院にて巡回車を運行しておりますが、便が1時間に1～2本であることなどを考え、来院される皆様に利用していただきやすい乗り物です。ぜひご利用を検討ください。

アプリのダウンロードから予約の取り方まで、大阪メトロのスタッフさんが丁寧に教えてくださいます!



1階ベンダーコーナーでの様子
説明会后、そのままご利用いただきお帰りになれた患者様やご家族様もいらっしゃいました。

各病棟での説明会も行いました!



1階ベンダーコーナーにて、オンデマンドバスのリーフレットのご用意がございます。ぜひ一度、お手にとってご覧ください!

オンデマンドバス
ホームページQRコード



リハビリテーション部のご紹介

当部では、**41名**の理学療法士が在籍しております。
入院された患者様に対しては、365日体制でリハビリテーションを行い、退院後の日常生活への復帰をお手伝いしています。

また、外来リハビリテーションでは、手術された方はもちろん、手術を受けられていない患者様で肩や腰、ひざの痛みに悩まれている方にも積極的にリハビリを行っています。

平日だけでなく、土曜日の午前にも対応しており、仕事や趣味・スポーツ活動への復帰まで、私たち理学療法士がサポートさせていただきます。



リハビリテーション室

病院2階に位置し、広々とした開放的な空間でリハビリを行っています。歩く練習や筋肉をつける運動、関節の動く範囲を広げる体操など、個々の患者様に合わせたメニューを担当スタッフが作成しています。患者様のリハビリ目標が達成できるよう、一緒に頑張っていきましょう。

リハビリ庭園

施設内のリハビリテーション室はバリアフリー構造ですが、実際の日常生活場面は段差や坂道など、あらゆる環境が存在します。

様々な環境にも安全に移動できるよう、当院には屋外でリハビリを行うスペースがあります。

急なスロープや不安定な砂利道など、スタッフが見守りながら実践的な練習を行うことができます。





夏になると脱水症状や紫外線による肌ダメージ、夏バテなど様々なトラブルが待ち受けています。

そんな問題を解決するために食卓に夏野菜を取り入れてみませんか？

夏野菜には夏を元気に過ごすための栄養がたっぷりと含まれています。

どのような野菜があるのかご紹介したいと思います。



トマト・・・リコピンというカロテンを多く含んでおり、強力な抗酸化作用により内側から錆びにくい体を作ってくれます。

きゅうり・・・95%が水分でカリウムを多く含んでいるのでむくみ予防や体を冷やしてくれる効果があります。

茄子・・・アントシアニン的一种であるナスニンやフラボノイドにより、体を冷やしてくれる効果があります。



ピーマン・・・レモン1個分に相当するほどのビタミンCが含まれており、毛細血管を丈夫にしてくれたり、しみの予防をしてくれます。

ズッキーニ・・・ビタミンB、C、カロテン、カリウムが豊富でむくみ予防をしてくれます。

管理栄養士よりワンポイントアドバイス



夏野菜の栄養を余すことなく取り入れるためには・・・

皮付近に栄養素が多くふくまれているので皮ごと食べれるよう料理がお勧めです。

カロテンなどの脂溶性ビタミンの吸収を高めるために良質な油と摂取しましょう。

冷やして食べてもおいしい

夏野菜のラタトゥイユ

<材料>

茄子 1本
パプリカ(黄) 1ヶ
ズッキーニ 1/2本
玉葱 1/4ヶ
ウィンナー 4本
コンソメ 小さじ1
トマト缶(ダイスカット) 1缶
塩コショウ 適量
オリーブオイル 大さじ1

<作り方>

- ①野菜は、食べやすい一口サイズにカットする
- ②ウィンナーは、斜め切りにする
- ③熱したフライパンにオリーブオイルをひき、ウィンナー、玉葱を加え、玉葱が半透明になるまで炒める
- ④残りの野菜を加え、しんなりするまで炒めたらトマト缶を汁ごと入れ、コンソメも加えて10分ほど煮込む
- ⑤塩コショウで味を調えたら、火からおろして器に盛り、好みに粉チーズをふって完成。



2022年4月～

外来診療担当医表

(※予約優先)

《午前診療》9:00 ～ 12:30

月	火	水	木	金	土
整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科
乾 義弘 (脊髄)	岩城 啓好 (膝・股関節) (11:00～)	乾 義弘 (脊髄)	榎 孝俊 (膝・股関節)	乾 義弘 (脊髄)	乾(第1週) 松川(第2週)
松川 哲也 (肩・肘・スポーツ整形)	谷口 慎一 (膝・股関節)	榎 孝俊 (膝・股関節)	貝澤 幸俊 (手・肘・肘)	松川 哲也 (肩・肘・スポーツ整形)	榎(第3週) 松川(第4週) 岩城(第5週)
		川村 和哉 (肩関節)			
内科				内科	
北田 憲彦				白敷 敏和	

《午後診療》13:30 ～ 17:00

月	火	水	木	金	土
整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科
松川 哲也 (肩・肘・スポーツ整形) (診療終了16:00)	岩城 啓好 (膝・股関節) (診療終了16:30)	松川 哲也 (肩・肘・スポーツ整形)	岩城 啓好 (膝・股関節)	乾 義弘 (脊髄)	整形外科医員 (肩関節専門)
谷口 慎一 (膝・股関節) (14:30～)	榎 孝俊 (膝・股関節)	渡谷 秀幸 (リウマチ) (16:00～)	榎 孝俊 (膝・股関節)	谷口 慎一 (膝・股関節)	
	谷口 慎一 (膝・股関節)				
		内科	内科	内科	
		西谷 真人	白敷 敏和	名越 良治 (循環器内科) (15:40～)	

《リハビリテーション》	平日		土曜日	日曜日・祝日・年末年始
	午前診療	9:00～12:00	9:00～12:00	休診します
	午後診療	13:00～17:00	休診します	

※ 日曜日・祝日・年末年始は休診しますが、時間外診療・救急外来(整形外科のみ)は、24時間受付します。

※ 出張・緊急手術等により担当医が交代または休診することがあります。

(院内掲示およびホームページでお知らせいたします。)



大阪整形外科病院

Osaka Orthopedic Hospital

〒553-0007 大阪市福島区大開4丁目3-61

T E L : 06-6463-1111(代)

【発行責任】総務課広報室

LINE公式アカウントははじめました!
ぜひお友達追加をお願いします。



《LINE公式
アカウント》



《病院ホームページ》